

# 水の 話

FujiClean NEWS

2020  
Spring

NO. 187



【特集】

## 東京都唯一の水鳥たちのオアシス。

葛西海浜公園のラムサール条約登録までの道のり

【フジクリーンレポート】

フィリピン ボホール島旧庁舎に

フジクリーン大型浄化槽PCN型が導入されました！

# 東京都唯一の水鳥たちのオアシス。

## 葛西海浜公園のラムサール条約登録までの道のり

2020年のオリンピックイヤーを迎え、世界中から多くの観客が訪れる「東京」。レガシーの創出を目標に、多くの競技場建設やインフラ整備が進められる中で、2018年10月、葛西海浜公園が東京都で初めてラムサール条約に登録されました。そこに至る背景からは、戦後から先進国を目指し歩んできた歴史や、水と緑のネットワークを次代につなぐ東京の姿が浮き彫りになってきます。

### DATA

**葛西海浜公園**  
1989(平成元)年6月1日に、葛西臨海公園の南側に開園した海浜公園。延長約800メートルの2つの人工なぎさ(西なぎさと東なぎさ)と、沖合2キロメートルまで広がる海域で広さは412ヘクタールを誇ります。西なぎさは、シーズン中は磯遊び、砂遊び、バーベキュー、潮干狩りを楽しめるのをはじめ、2015年からは、東京で唯一、海水浴を楽しむことができます。

## 東京都で唯一残された、貴重な干潟と豊かな生態系。

### 世界的な湿地として認められた葛西海浜公園

東京都江戸川区臨海町の沖合に広がる葛西海浜公園は、1989(平成元)年に開園し、天然の浅瀬や干潟を含む海域、その中に造られた2つの人工干潟からなる海上公園です。東京に現在38カ所ある海上公園の中でも最も大きい約412ヘクタールの広さを誇り、東京ディズニーランドや東京湾アクアライン、房総半島を一望できる雄大な景色は、1996(平成8)年に「日本の渚百選」にも選ばれています。

葛西海浜公園は、東京湾に流入する荒川と旧江戸川の河口に位置する汽水域で、西なぎさと東なぎさの先に広がる「三枚洲」や「高洲」と呼ばれる干潟は、東京都に残る唯一の天然干潟です。二枚貝類、甲殻類、多毛類などの豊富な生物が生息することから、カモ類をはじめとする渡り鳥の飛来地となっており、2018(平成30)年10月18日、日本で52番目、東京都では初となるラムサール条約に登録されました。9つの国際登録基準のうち、①定期的に2万羽以上の水鳥を支えている湿地 ②水鳥の1種または、1亜種の個体群の個体数の1%以上を定期的に支えている湿地 ③生活環の重要な段階において動植物種を支えている湿地 の3つを満たし、国際的に重要な湿地であることが認められました。

### 世界的に減少する湿地の役割と重要性

ラムサール条約における湿地とは、「天然のものであるか人工のものであるか、永続的なものであるか一時的のものであるかを問わず、更には水が滞っているか流れているか、淡水であるか汽水であるかかん水(海水)であるかを問わ

ず、沼沢地、湿原、泥炭地又は水域をいい、低潮時における水深が6メートルを超えない海域を含む」と定義しています。干潟は、プランクトンが豊富なため、それをエサとする魚や貝、海草など、多くの生物を育む「海のゆりかご」と呼ばれています。さらに、魚貝類をエサとする渡り鳥の中継点となっていたり、海水の浄化にも役立つなど、海辺の生態系にとって、湿地は重要な役割を果たしています。

しかし昨今、世界的に湿地・干潟の減少が大きな問題になっており、日本の干潟は過去60年の間に約40%が失われたと言われていています。今も残る東京湾の干潟は、千葉県木更津市の盤洲、習志野市の谷津干潟、船橋市から市川市にかけての三番瀬などが挙げられますが、東京都では河川域を除くと葛西海浜公園だけです。2018年に、ラムサール条約事務局は、1970(昭和45)年からの約50年間で世界の湿地の約35%が消滅し、森林と比較して3倍の早さで消滅が進んでいるという報告を出しました。だからこそ、大都市に残された貴重な干潟が守られている葛西海浜公園は、貴重な事例として世界的にも注目を集めているのです。

### Check

#### ラムサール条約とは

正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。さまざまな生物の生息・生育地として重要な湿地の保全とワイズユース\*を目的に、1971(昭和46)年にイランのラムサールで採択されました。日本は1980(昭和55)年に加入しており、これまでに釧路湿原や尾瀬など、52カ所が登録されています。

\*ワイズユース(Wise use)とは=湿地の恵みを賢く使うこと



# ラムサール条約につながる、東京湾の破壊と回復の歴史。

## 高度経済成長による東京都の発展と環境破壊

葛西海浜公園が、東京都唯一の干潟として残された背景には、東京都の著しい発展の歴史があります。かつて、この葛西沖は、海苔やアサリ、ハマグリなど豊富な魚貝類が捕れる漁場であり、多くの江戸前の魚貝類や名産の「葛西海苔」が収穫されていました。一方で、春は潮干狩り、夏は海水浴、秋はハゼ釣り、冬は「すだて」と呼ばれる舟遊びなどを楽しむ憩いの場として一年中賑わい、海と人々の暮らしが深く関わっている地域でした。

しかし、1950年代からの高度経済成長期に入ると、産業勃興のための港湾づくりや工業地帯の建設が進められ、大規模な埋め立て地が造成されていきました。東京湾は、1955(昭和30)年頃からの30年間で、187平方キロメートルが埋め立てられ、136平方キロメートルあったと言われる東京湾内湾の干潟域は約8%にまで減少しました。さらに大量の廃水が流れ込んだ東京湾は、浄化されることなく汚染され、公害が発生していきました。また葛西地区では、工業化による地下水のくみ上げによって地盤沈下が進み、178ヘクタールもの民有地が水没してしまいました。環境の悪化が深刻となっていった東京の海と市民生活は徐々に遠ざかり、人々は次第に海とのつながりを失っていきました。

## 自然回復を目指して動き始めた「海上公園構想」

こうした状況を重く受け止め、東京都はすでに9割まで進んでいた東京湾の埋め立てと、大気汚染や水質汚濁などの都市化の進展にともなう自然環境の悪化にブレーキをかけるため、1971(昭和46)年に「海上公園構想」を策定しました。この構想は、海への十分な配慮を怠り、経済活動のみに重きをおいてきたことを反省するという、当時の行政として画期的な考え方を示すとともに、「失われた東京の海を都民の手に取り戻す」をスローガンに、港湾区域における公園緑地や水域の保全・創出を体系的に示した計画として、全国に先駆けたものでした。これにより1975(昭和50)年12月には、最初の海上公園として「晴海ふ頭公園」や「京浜運河緑道公園」など13公園(広さ約27ヘクタール)が開園しています。海上公園は、目的に応じて「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」の3種類が設定され、多くの公園が海に面した開放的な空間を形成しています。その後も、東京港初の鳥類のサンクチュアリとして開園した「東京港野鳥公園」や、臨海副都心部の骨格を形成する「シンボルプロムナード公園」など、2019(平成31)年4月までに38公園が開園し、東京都の臨海部全域にわたって豊かな水と緑のネットワークを構築しています。



都心部を流れ、新中川と合流し東京湾に注ぎ込む旧江戸川



〈写真提供：(公財)東京都公園協会〉

隣接する葛西臨海公園には、緑豊かな広場や観覧車、世界の魚から東京湾の生き物まで学べる葛西臨海水族園などがそろっています

### 葛西臨海公園

江戸川区臨海町6-2-1  
Tel / 03-5696-1331(葛西臨海公園サービスセンター)  
http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index026.html



〈写真提供：葛西臨海水族園〉

### 葛西臨海水族園

江戸川区臨海町6-2-3  
Tel / 03-3869-5152 <https://www.tokyo-zoo.net/zoo/kasai/>  
[開園時間] 9:30~17:00(入園および入園券の発売は16:00まで)  
[休園日] 水曜日(水曜日が祝日や休日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)

## 貴重な干潟を保全する葛西海浜公園が誕生

「海上公園構想」と並び、葛西沖では東京都で唯一残った三枚洲の保全や、そこに生息する生物の保護を訴える声が高まり、1972(昭和47)年、東京都では水没した土地の復元と新たな土地の創造を行い、豊かな自然と都市機能が調和したまちづくりを目的とする「葛西沖開発土地地区画整理事業」が始まりました。土地地区画整理によって水没していた民有地が復活するとともに、公有水面の埋め立てによって348ヘクタールの新たな土地が生まれました。海際には、環境への配慮と、高潮被害が住宅地に及ばないようにという考えから、公園を配置することが決められ、葛西臨海公園と葛西海浜公園の建設が計画されました。

葛西海浜公園は、かつて漁場として栄えたことや貴重な干潟を保全する考えから、海の公園として保全することになり、水域を公園区内に含めた特徴的な海上公園として整備が始まりました。当時、海中でも地盤沈下が進んでいたことからさまざまな調査や実験が行われ、2つの弓形の人工なぎさをつくることで天然の干潟を守りつつ、都民が親しめる場所として整備されました。1989(平成元)年に開園すると同時に大変な話題を集め、現在でも葛西海浜公園や葛西臨海公園、葛西臨海水族園を含めたこのエリア一帯には、年間300万人以上が訪れる人気のスポットです。

## ラムサール条約登録までの歩み

海上公園構想や葛西沖開発に見られるように、行政や市民の環境への意識が変わったことで、東京湾の豊かな自然環境は戻りつつあります。環境省は、2010(平成22)年9月にラムサール条約湿地としての国際基準を満たすと認められる湿地を、全国から172カ所選定し、その中に葛西海浜公園も含まれていました。さらに東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて持続可能性に配慮した取り組みの推進や、江戸川区などの要望を受け、2017(平成29)年3月の都議会にて、小池百合子知事が「葛西海浜公園三枚洲のラムサール登録を推進する」ことを表明しています。それを契機に、具体的な検討と調整が進められ、同年5月策定した「海上公園ビジョン」で初めてラムサール条約湿地への登録を目指すことが明確にされました。その後は登録に向けての準備が国と都の連携によって進められる一方で、この地域で活動するNPOや市民団体、事業者などさまざまな人たちの理解を得るための意見交換や調整も行われました。2018(平成30)年についてラムサール条約の登録が実現されると、干潟の保全や利活用への取り組みが強化・継続されるだけでなく、都市と自然との共生の実現に向けて、東京都は新たな一歩を踏み出しました。



葛西海浜公園空撮  
〈写真提供：東京都港湾局〉

## 葛西沖開発土地地区画整理による葛西沖の変化



昭和47(1972)年施行前の葛西沖 平成7(1995)年施行後の葛西沖



野鳥の保全や、野鳥観察の場所として重要な役割を担う東京港野鳥公園



### 東京港野鳥公園

大田区東海3-1  
Tel / 03-3799-5031  
http://www.tptc.co.jp/park/03\_08  
[開園時間]  
2月~10月 / 9:00~17:00 11月~1月 / 9:00~16:30  
(入園および入園券の発売は30分前まで)  
[休園日]  
月曜日(月曜日が祝日や休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日~翌年1月3日)

# 海と人、都市と自然との共存を実現する東京湾の未来。

## 海の文化継承、環境教育の拠点として

葛西海浜公園は、東京駅から電車でわずか15分の距離に位置し、首都圏や周辺に暮らす人々にとって身近な存在になっています。現在120種類以上の鳥類が確認されており、特に干潟環境を生息場所とする鳥類を数多く見ることが可能です。ほかにも、トビハゼ、エドハゼなどの希少な魚類やヤマトオサガニやコメツキガニといったカニ類、アサリなど食用になる貝類も豊富です。こうした海の自然や文化と将来にわたって多くの人々が気軽に触れ合える貴重な場所として、干潟を活用した海の文化の継承や環境教育など、さまざまな活動に利用されています。

例えば、かつての名産「葛西海苔」を実際に身近な海で育てて「海苔すき体験」を行うことで地域の歴史や環境を学ぶ活動や、竹の幹に竹の枝を束ねてくりつけた古式漁具の「竹ひび」を設置して水質浄化を促す「竹ひび設置活動」、葛西海浜公園に飛来してくる野鳥を観察する「野鳥観察会」など、多彩な活動がNPOなどの協力によって実施されています。また、持続的な景観維持や環境保全活動も活発に行われており、西なぎさでは3～11月にNPOの呼びかけでゴミ拾いが行われています。また東なぎさでは、5月と11月に漁業関係者や自然保護団体等の協力によって、船で渡って漂着ゴミを取り除く作業が行われるなど、多くの人の手によって葛西海浜公園の環境は守られています。

## 美しい水辺環境が整備され、注目を集める臨海部

ついに開幕が迫った東京2020オリンピック・パラリンピックでは、臨海部を中心とする「東京ベイゾーン」に、多くの競技会場が設置されています。全体の競技施設のうち7割以上を東京ベイゾーンが占めており、海上公園内もしくは隣接する場所に設置されていることから、海上公園と一体となった活用が想定されています。

中でも、ポート・カヌーの会場である「海の森水上競技場」は、オリンピック・パラリンピック後に「海の森公園」として開園を予定し、整備が進められています。海の森公園は、1973(昭和48)～1987(昭和62)年にかけて埋め立てられた1,230万トンのゴミと建設発生土による埋立地を緑あふれる森に生まれ変わらせる事業です。計画面積は約149ヘクタールで、苗木づくりから植樹までを都民や企業と協働で行う市民参加型のプロジェクトとして、新たな大規模緑地の創出に期待が高まっています。

東京湾は、戦後日本の経済成長とともに発展し、首都圏の生活と産業活動を支えてきました。また近年は、都心のダイナミックな景観やエンターテインメントエリアとして魅力を発信してきました。オリンピック・パラリンピックというビッグイベントを迎え、葛西海浜公園は自然共生都市の象徴として、新しい東京の姿を広く世界に発信していきます。



葛西海浜公園から見える美しい夕暮れも人気

- [取材協力・写真提供・資料提供]
- 東京都港湾局臨海開発部
  - 公益財団法人 東京都公園協会
  - 葛西臨海水族園
  - 公益財団法人 東京動物園協会

- [参考資料]
- よみがえる海辺 環境創造21(港湾環境創造研究会 著/株式会社 山海堂 発行)
  - 江戸前の環境学 海を楽しむ・考える・学びあう12章(川辺 みどり・河野 博 編/一般財団法人 東京大学出版会 発行)
  - 水の都市 江戸・東京(陣内秀信+法政大学陣内研究室 編/株式会社 講談社 発行)
  - 科学で環境探検 どうなる東京湾の干潟の生き物(香原 知志 著/大日本図書 株式会社 発行)



1 きれいな砂浜の維持と併せ、干潟の生物の観察会も行われます

2 地元の小学生が参加して行われた「海苔すき体験」

3 夏休み期間中には東京で唯一の海水浴が楽しめる公園として賑わいます

4 カムリカイツブリ

5 オサガニ

6 トウセン

7 トビハゼ

8 スズガモ

写真提供: 1・3・4・6・8/東京都港湾局 2/(公財)東京都公園協会 5・7/(公財)東京動物園協会



## お客様の声で船問屋から銭湯業へ。240年以上愛され続ける癒しスポット「あけぼの湯」



江戸時代から240年以上続く老舗銭湯「あけぼの湯」。もともとは船問屋を営むも、「お風呂もあれば良いのに」という声から1773(安永2)年に銭湯業を始めました。無色透明な天然温泉と男女ともに12種類もある多彩なお風呂が評判で、今では何度も訪れたいくなる癒しのスポットとして話題を呼んでいます。銭湯には珍しく食事処があるのも人気の一つ。多い時には平日に300人、休日には500人もの方が入湯し、近隣住民だけでなく、遠方からも家族連れや若者などが集まります。19代目店主の嶋田照夫さんが「歴史があるからこそ、お客さん目線に立つ」と語るこまやかな気遣いは、時代を超えて多くの人を癒しています。



都営地下鉄新宿線・船堀駅で下車し、並木道を抜けて少し歩いた場所に佇む「あけぼの湯」。2階建ての浴場には、露天風呂や牛乳風酵素風呂、遠赤外線ガス、スチームサウナなどが並びます。食事処では、冷たいビールや本格的なおつまみを楽しむこともできます。遠方からお越しの方のために、14台駐車可能な無料駐車場も完備しています。

### あけぼの湯

東京都江戸川区船堀三丁目12番11号

- TEL 03-3680-5611
- 営業時間 15:30～23:45 (日曜日・祝日は14:00～23:45)
- 定休日 木曜日、第1、第3金曜日
- 入浴料 大人[12歳以上]470円  
中人[6歳以上12歳未満(小学生)]180円  
小人[6歳未満(未就学児)]80円  
江戸川区在住の65歳以上の方は「入浴証」のご提示で230円、中学生は「学生証」のご提示で300円  
※入浴料は全て税込価格です
- Web <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~akebonoy>

海外導入レポート

## フィリピン ボホール島旧庁舎に フジクリーン大型浄化槽PCN型が導入されました！

### Introducing FujiClean's PCN Commercial wastewater treatment system in the Old Provincial Capitol Building on Bohol Island, Philippines!

フィリピンは、西太平洋に位置する東南アジアの国で、7,000以上の島で構成されています。そのうちのひとつで、国内で10番目に大きい「ボホール島」は、手つかずの大自然が残る観光地としても人気の島です。今回は、フジクリーンの大型浄化槽がボホール島の旧庁舎に導入された事例をご紹介します。

The Philippines is a Southeast Asian country located in the western Pacific Ocean. It is comprised of more than 7,000 islands. One of these islands, Bohol Island, the tenth largest in the country, is a popular tourist destination with pristine wilderness. In this edition, we will introduce a case where FujiClean's large wastewater treatment system, or "JOKASO" in Japanese, was introduced in an old government building hall on Bohol Island.

#### 排水の水質と臭気問題の解決に向けて フジクリーン浄化槽を導入

ボホール州の市街地の中心部にある旧庁舎は、道を挟んだ向かい側にあるプラザリサル公園に設置したセプティックタンク（腐敗槽）によって排水処理を行っていましたが、性能不良や長年のメンテナンス不足などの原因による不具合から悪臭が発生していました。さらにフィリピン全土において、十分に処理されていない排水がそのまま海に流れ込んでいたことで、環境面でも問題視されていました。こうした状況を受け、旧庁舎ならびに公園を管理するボホール州政府は、フィリピンの排水規制が改正されるタイミングも考慮し、浄化槽への転換を検討し始めました。政府の要望を受けた株式会社オーエム製作所様をはじめ、岡部バルブ工業株式会社様、現地で活動をしているPJW社様の紹介を通じて、フジクリーン浄化槽への転換を提案すると、高い処理性能と信頼性が評価され、大型浄化槽PCN型の導入が決まりました。

#### Introducing the FujiClean wastewater treatment system to resolve issues of effluent quality and stench

Wastewater from the Old Provincial Capital Building, located in the Town Square of Tagbilaran City, Bohol Province's capital, was treated by the septic tank installed in Plaza Rizal Park on the other side of the street. The septic tank released an awful odor because of malfunctions, including poor maintenance. As commonly done throughout the Philippines, improperly treated wastewater was discharged directly into the ocean, posing environmental issues. Amid this situation, the provincial government of Bohol, which manages the Provincial Capitol Building and the Plaza Rizal Park, started studies on converting to an advanced wastewater treatment system. The timing of revisions to the Philippines' wastewater restrictions was also a factor. Conversion to FujiClean's advanced wastewater treatment system was proposed by OM MFG CO., LTD., which received the government's request, as well as Okabe Valve Kogyo Co., Ltd., and Phil-Japan Worldwide Management Services Management Inc. (PJW), which are active in the area. The high processing capacity and reliability were evaluated, and it was decided to introduce the PCN Commercial wastewater treatment system.



プラザリサル公園  
Plaza Rizal Park

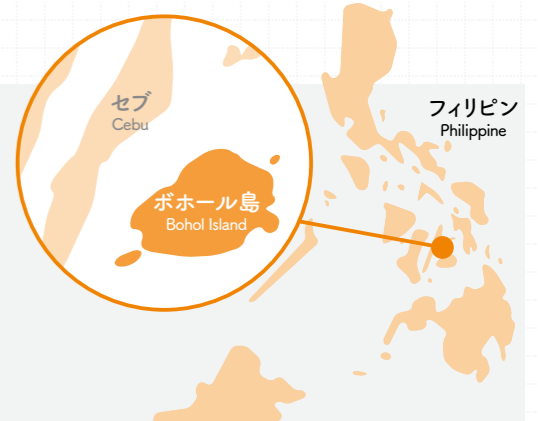


設置工事の様子  
Scene from installation work

#### Bohol Island -ボホール島-

フィリピン中部ビサヤ諸島にある島。アロナビーチなど美しいビーチリゾートとして人気のほか、神秘的な景色が広がる『チョコレートヒルズ』や世界最小級霊長類の『フィリピンメガネザル(ターシャ)』の生息地としても知られている。

Island located in the Central Visayas region of the Philippines. Bohol is known for its beach resorts such as Alona Beach, mystical scenery of the "Chocolate Hills," as well as the home to the world's smallest living primate, the Philippine tarsier."



#### きれいな排水を活用して、公園環境も充実

施工は2017年2月からスタートし、セプティックタンクの排水を浸透放流していた場所にPCN型2基を並列して設置しました。現地での施工は、機材やスタッフが十分にそろわないなどの苦労もありましたが、1カ月程で無事完了しました。浄化槽導入後は、一番の課題であった臭気問題や排水の水質を大きく改善することができました。また今回のプロジェクトでは、放流水で植栽に散水したり、テラピアや金魚を飼育するなど、きれいな水質だからこそその排水利用も行われ、市民の憩いの場としての環境整備も実現しています。プロジェクトを終え、株式会社オーエム製作所の担当者様からは「今回フジクリーンに相談したのは、製品の品質が良く、製品、技術ともにきちんとしたフォローができると判断したからでした。この成功を契機に、今後も一丸となってフィリピンの素晴らしい環境を守っていきたいと思います」との声をいただきました。

フィリピンは、未だ排水処理施設の普及が十分に進んでおらず、多くの課題を抱えています。しかし2018年4月にドゥテルテ大統領が観光地のボラカイ島を半年間閉鎖するなど、環境への意識が高まりつつあります。SDGsの目標に「水と衛生」が掲げられているように、フジクリーンは今後も、世界に目を向けながら水問題の改善に貢献していきます。

#### Enriching the park environment with clean effluent

Construction started in February 2017. Two PCN units were arranged in parallel in the space where the effluent from the septic tank was irrigated for disposal. Although the arrangement of materials and staff at the site posed some challenges, we were able to complete the construction in about a month. The main problems of odor and quality of effluent were significantly improved once the PCN system was installed. The clean water quality achieved with this project allows the effluent to be used for watering the greenery and raising tilapia and golden fish, etc. The park environment has been improved as a comfortable area for the citizens. The person in charge at OM MFG CO., LTD. told us, "We consulted with FujiClean about this case because we determined that the product quality was high and that the products and technology can be properly followed. After this successful case, we want to continue working together to protect the Philippines' wonderful environment." Wastewater treatment facilities have not fully spread through the Philippines, and there are many challenging issues. However, environmental awareness is on the rise, as seen with President Duterte's closing of Boracay Island for six months in April 2018. As "Water and sanitation" are listed as targets for the Sustainable Development Goals (SDGs), FujiClean will continue to look toward the world and contribute to improving water-related problems.



施工後の様子  
Scene after construction



浄化槽からの放流水を公園の植栽などに利用  
Effluent from wastewater treatment system is used to water the park's greenery, etc.

EVENT

## 大木町合併処理浄化槽維持管理協会主催の浄化槽講習会で 施主様向け講習会が行われました。

福岡県にある一般社団法人大木町合併処理浄化槽維持管理協会では、適切な使用方法と適切な浄化槽の維持管理システムの構築を目指してさまざまな活動を行っています。例えば、浄化槽を設置する方々の負担軽減を図るために独自の制度を設けたり、生活排水による水環境の悪化防止や保全のため、適正な維持管理を求める定期的な情報発信や講習会、相談受付を行っています。その成果もあり協会への加入率は93%（2020年2月25日現在）となっています。

フジクリーンは、協会が主催する講習会に講師として招かれ、2019年8月から12月にかけて合計3回にわたり講習会を行いました。フジクリーンが行ったブロウ講習会では、「ブロウ送風機の概要について」をテーマに、浄化槽を設置している方々が安心して使用していただけるように、シンプルに分かりやすく説明を行いました。

説明会後には、参加者から「ブロウが大雨などの影響で浸水した時はどうしたらいいのか」など、近年増加している水の災害に備えるための質問も寄せられました。



NEWS

## 浄化槽交換部品パンフレットができました!! 浄化槽交換部品の「販売」と「改修工事」はフジクリーンへお任せください!!

フジクリーンでは、浄化槽の製造・販売だけでなく、浄化槽に付帯する交換部品の「販売」から「改修工事」に至るまで、幅広いニーズにお応えします。維持管理会社や材材店、設備会社の担当者様で、浄化槽のことで「困ったな…」ということがありましたら、まずはフジクリーンへご相談ください。

■パンフレット



掲載製品

- ブロウ
- 水中ポンプ
- フロートスイッチ
- マンホール
- 制御盤
- 薬品注入設備
- 水処理塩素剤
- リン除去装置
- ほか各種更新用部品



ぜひご登録ください

## 必要書類の更新情報をメールでお知らせ!『最新版お知らせサービス』

フジクリーンのホームページでは、浄化槽の計画から施工・維持管理までの工程に必要な書類が「ダウンロードコンテンツ」ページより手軽にダウンロードできます。さらにダウンロードする際に、画面下部にある登録フォームからメールアドレスをご登録いただければ、ダウンロードした書類と関連のある書類が追加・更新されると、その情報を随時メールでお知らせしています。また登録時に受け取る情報の選択もできるため、必要な情報だけをお知らせします。

メールアドレスをご登録いただくことで最新のお知らせが届きます。  
(登録されなくてもダウンロードはできます)

メールアドレス【申請用】

メールアドレス【確認用】

受け取る情報  
 申請情報  施工情報  維持管理情報  カタログ情報  水の話  水処設備

※決まらな部分のレポートを発行しています。お返事はございません。  
 ※フジクリーンの他のサービスやプロダクトの最新情報のお知らせや動向をお知らせいたします。お返事はございません。

個人情報取得について、「個人情報保護方針」をご覧ください。  
 個人情報保護方針に同意する

ダウンロードするには「注意・制限事項について」をご覧ください。  
 注意・制限事項に同意する

ダウンロード

登録フォーム

「ダウンロードコンテンツ」  
ページはこちら



組織体制  
の変更

## 郡山営業所が移転しました。

2020年2月より、福島県の郡山営業所が事務所を移転しました。新事務所は右記となります。

新住所

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目99番地  
オクタゴンビル4階  
TEL.024-937-0800 FAX.024-945-2080  
※TEL、FAX番号が変更となりましたのでご注意ください。

もっと  
motto!  
広げよう

水環境をきれいに  
する取り組み

(名古屋市)  
NPO法人  
藤前干潟を守る会



理事  
戸前 辰弥さん

## 干潟を活用し、子どもを対象にした 環境学習を实践。未来の水環境を支える ガタレンジャーJr.を養成!

関連団体や個人が協力し  
年間2回程行われる清掃活動



ガタレンジャーJr.では自ら発見し、  
自ら気づき、考えることを  
大切にしています

(写真提供:NPO法人藤前干潟を守る会)

ゴミの最終処分場として藤前干潟を埋め立てる計画が立ち上がったのが1984(昭和59)年。それに反対する市民が干潟の保全を訴えるため「名古屋港の干潟を守る連絡会(現名称:藤前干潟を守る会)」が1987(昭和62)年に結成されました。署名運動を中心に、生物が生きる環境の大切さを説いた活動は、全国的に注目を集め、10万人超の署名簿の提出を果たしました。1998(平成10)年に環境庁(現:環境省)が埋め立てに否定的な見解を示したことで名古屋市は翌年に藤前干潟のゴミ処分場の計画を断念。市のゴミ減量推進の大きな契機となり、話題を呼びました。2002(平成14)年にラムサール条約に登録されると、藤前干潟の保護・保全体制が整備されていきました。藤前干潟を守る会は、恒久的な保全活動を推進する方針で、生物調査や自然観察、清掃活動をはじめ、環境教育活動に積極的に取り組み始めました。さらに環境省が2005(平成17)年に設置した稲永ビジターセンターと藤前活動センターの2施設の管理

運営業務を請け負うなど、一年を通じて多彩な活動を展開しています。

中でも代表的な活動として挙げられるのが、2002年から始まった「ガタレンジャー(干潟のレンジャー)養成講座」です。干潟の自然や生物についての知識、調査や案内の技術を習得し、干潟のガイドができる人材を育成するもので、これまでに100人以上の修了者を輩出しています。そして2009(平成21)年には、小学校4年生~中学生を対象にした「ガタレンジャーJr.」をスタートさせました。一年で6回のプログラムを実施し、干潟を学び場に、自ら気づき、考え、調べる、体感を重視した教育を行っています。先頃、ガタレンジャーJr.を次代に向けて育成する環境教育が評価され、「生物多様性アクション大賞2019」で入賞することができました。

今後は、藤前干潟の環境を守り続けるためにも干潟を取り巻く流域圏(源流の山から川、海)まで範囲を広げ、さらなる保全活動に取り組んでいきます。



美しい水を守る

# フジクリーン工業株式会社

本社 名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-0850 TEL(052)733-0325 <https://www.fujiclean.co.jp>

札幌支店 (011)738-5075	茨城営業所 (029)839-2271	岐阜営業所 (058)274-1011	佐賀営業所 (0952)31-9151
東北支店 (022)212-3339	宇都宮営業所 (028)625-4650	静岡営業所 (054)286-4145	熊本営業所 (096)388-3571
東京支店 (03)3288-4511	群馬営業所 (027)327-5611	四日市営業所 (059)350-0788	大分営業所 (097)558-5135
名古屋支店 (052)733-0250	埼玉営業所 (048)620-1424	和歌山営業所 (073)422-3634	宮崎営業所 (0985)32-3064
大阪支店 (06)6396-6166	千葉営業所 (043)206-5171	広島営業所 (082)843-3315	鹿児島営業所 (099)257-3501
福岡支店 (092)441-0222	新潟営業所 (025)271-8668	高松営業所 (087)869-8680	沖縄営業所 (098)862-9533
盛岡営業所 (019)604-2527	山梨営業所 (055)275-9300	松山営業所 (089)967-6123	
郡山営業所 (024)937-0800	松本営業所 (0263)27-2080	高知営業所 (088)803-1520	



発行 2020年4月1日  
フジクリーン工業株式会社「水の話」編集室